
おおきいのちいさいの

ヒビキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おおきいのちいさいの

【Nコード】

N7700J

【作者名】

ヒビキ

【あらすじ】

階段から落ちそうになった夏梨を助けた日番谷は…何故か責められる羽目に。コメディです。

階段を駆け上っていく夏梨よりも小さな子供がとん、と軽く体にぶつかって。

体勢が崩れた、と思った瞬間には夏梨の体は地面と接する何物ともつながらない状態で。

つまり、宙に浮いていた。

勿論夏梨には宙に浮く術はないのだからあとは落ちるしかないのだが。

などと妙に冷静に考えていられたのは、夏梨よりも先に階段を降りる少年の後姿が見えていたからか。

地面にぶつかるとの気配もなく、思いがけないほどの力強さで夏梨の体は支えられた。

「悪い、冬獅郎。助かった」

一足遅く、心臓がばくばくと脈打つ。

落ちるのは怖い、と思いながらも危なげなく夏梨を抱えた右腕が興味を引く。

夏梨よりも背の低い少年の力とは思えなかった。なにしろ手すりを掴んだ左腕一本で日番谷自身と夏梨、両方支えているのだ。死神だから特別なのだろうか。

まったくぶれることなく支えていられるのだから、落ちることはないだろうと夏梨は抱えられながら日番谷の右腕を撫でてみた。

感触は人間と変わらない。隠れマツチヨというふうにも思えな……

「何してやがんだ。さっさと離れるよ夏梨」

言葉だけ取るならなんてぶつきらばうな、と思えるが頬がやや赤く染まっているのを見ると、この密着体勢に戸惑っているように見えなくもない。

が、夏梨としてはここできちんと正さねばと変な義務感に駆られた。「嬉しくないのかよ、お前」

ちゃんちゃん、とわざとかわいらしく日番谷の腕をつつく。

右腕は、支えるためとはいえ夏梨の胸部に完璧に当たっていた。

「……嬉しいけどよ」

「正直でよろしい。」

「けどさ、これってつまんなくない？」

「は？」

「どうせ当たるんならもっとおつきいほうが楽しいだろ？」

別段ひがんでいるわけでも悲観しているわけでもない。それは未成熟なせいかDNAのせいかわからないけれど現在の夏梨はそういうもので、それでいいと思っっているのだから。

ただ、夏梨としては客観的に見てそうだろうと思ったから言っただけなのだが。

対して、日番谷は。眉間に皺を寄せて嫌そうにつぶやいた。

「あんなの痛いだけだ」

「はあっ！？ちよつと待てよ！」

痛いって、気持ちいいとかそういうのないわけ？やったラッキー

とかドキドキするとかさあ！

「ラッキーって何だよ。」

でかくたつて場所とるし邪魔なだけじゃねえか」

「変だ！お前その思考回路変だぞ、男として！」

それとももしかして貧乳好きなのか！？だからあたしなのか！？」

「大きさなんて関係ねえよ。大体お前の思考回路もいい加減変だぞ。」

ドキドキするなんて、好きな女でもなきや当たつても嬉しかね

ーよ」

「いやそんなことないね。乳が育ってる女に興味を示さないなんて病気だ！」

よし分かった。絶対あたしがエロい体に育つてお前の病気を治してやる！！」

「人を勝手に病気扱いすんな！」

数年の後、順調に成長期に入った夏梨と大変遅くなったとはいえ成長を果たした日番谷は。

「どーよ？でっかい乳の魅力は」

「だから大きさはどうでもいいって言ってるだろうが、夏梨。

でもお前の体は悪くない」

「正直でよろしい」

それなりに立派に育った胸を楽しめる間柄になっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7700j/>

おおきいのちいさいの

2010年10月20日19時23分発行